

# 富士山憲章

## ニュースレター

2007.  
7

No.82



さあ、登るぞ！ 一山開き後に山頂を目指す登山者たちー 7月6日吉田口登山道6合目で撮影

### Contents 今月の話題

#### 富士山憲章ニュース

- 富士山の登山シーズン到来
- エコツアーガイドライン推進協議会報告
- 盛んな富士宮の富士山学習
- 富士山美化清掃活動報告

#### 富士山レンジャーレポート

- 富士山学習支援プログラムの取り組み
- 富士山から写真絵日記

#### お知らせ

- 富士山関連イベント情報

#### クイズQ?

表紙のタイトルをよぎっていった動物の足跡は、いったいどれでしょうか？

- ①ウサギ
- ②イタチ
- ③シカ

正解は最後のページだよ

## 富士山の登山シーズン到来 ～マナーを守り、きれいな富士山を～

7月1日、約2ヶ月間にわたる富士山の夏山シーズンが始まりました。昨年は、7、8月に、吉田口・河口湖口の五合目を訪れた方は、約75万人、吉田口の登山道を登った方も約17万人いました。(富士山六合目安全指導センター前通過者<富士吉田市富士山課提供>)

例年多くの観光客や登山客で賑わう富士山五合目ですが、これだけ多くの方が訪れると、自動車の排気ガスやゴミのポイ捨てなど、一人ひとりの小さな行動も、富士山の自然環境には大きな負担が掛かってしまいます。このため、富士山の自然環境を守るため様々な取り組みが行われています。

富士スバルラインを管理している山梨県道路公社では、富士山の環境保全と渋滞解消を図るため、マイカー規制(平成19年度は、8月11日～8月20日)を実施します。また、今年は、シーズン中の週末、夜間の五合目終点の駐

車場の閉鎖、それにとまなう、沿線駐車場と五合目広場を結ぶ無料シャトルバスが運行されます。

また、県では、近年多く見られるようになった外国人登山者にも富士登山のマナーを呼びかけるため、英語、韓国語、中国語で書かれた「富士山登山マナーガイドブック」を五合目総合管理センター等で配布しています。例年、山梨県山岳連盟に委託して行われる富士山の清掃活動については、今年は、静岡県側と協力して富士山頂付近の清掃活動が9月9日に行われる予定です。

麓でも、多くのボランティアの方が、富士山をきれいにしようと清掃活動が行われています。

美しい富士山を残していくために、富士山を訪れる際には、「ゴミは、捨てない、出さない、持ち帰る」「車のアイドリングをしない」などマナーを守りましょう。

## エコツアーガイドライン 推進協議会開催される —現地視察も同時実施—



大室山周辺の樹海で行われた現地視察の様子。利用ルートの限定等について議論された

5月17日(木)、民間のエコツアー事業者、関係行政機関、学識経験者でつくる富士山青木ヶ原樹海等エコツアーガイドライン推進協議会が開かれました。

今回の協議では、前回協議会で提案のあった利用可能ルートの見直しに関連して、すでに利用されており踏圧等による希少植物の減少が指摘されている「大室山(ブナ広場)周辺」と今後エコツアーでの利用が考えられている「本栖(石塁)周辺」の各ルートで現地視察が行われました。その後、鳴沢村の富士エポックホールに会場を移し、各ルートの現状やエコツアーの実施状況等を参考に、「利用の可否」などについて意見交換が行われました。

今後も民間のエコツアー事業者と行政が一体となつての青木ヶ原樹海の環境保全を目的としたエコツアーガイドラインの取り組みが進められていきます。

富士山を学ぼう!

## 富士山の環境学習

6月14日、富士宮市立富士宮第2中学校の生徒4名が、「総合的な学習の時間」の一環として行われる「調べ学習」のため、当センターを訪れました。生徒の皆さんからは、自分たちがボランティアとしてできることや富士山のゴミの状況、富士五湖の噴火での影響など多角的な質問が出され、当センターで、情報の提供や説明を行いました。子供達の真っ直ぐな視線と熱心さが印象的でした。

富士山ボランティアセンターでは、富士山の環境保全に関する質問などにお答えします。夏休みの自由研究などにお役立てください。



熱心な質問に当センター職員も真剣に答えます

## 富士山美化清掃活動報告 (H19 4月-6月)

日付	主催・イベント名	人数	活動内容
4/15	富士山・エベレスト同時清掃活動	177	県営林道本栖線 可燃、不燃、粗大 2,990kg回収
4/16	エキシブ山中湖	20	山中湖湖平野地区 可燃、不燃 300kg回収
4/22	ZECS	30	小立 健康科学大学付近 可燃、不燃、粗大1,590kg回収
4/25	山中湖観光地を美しくする会	500	山中湖村民による湖畔一斉清掃 可燃、不燃1,870kg回収
4/27	宝仙学園理数インター	56	富士ヶ嶺 国道139号線側県境付近 可燃、不燃、粗大610kg回収
5/9	山中湖観光地を美しくする会	500	山中湖村民による湖畔一斉清掃 可燃、不燃1,520kg回収
5/12	DTS	29	富士ヶ嶺 国道139号線側県境付近 可燃、不燃、粗大570kg回収
5/17	富士吉田中央ライオンズクラブ	15	山中湖村旭日丘地区 可燃、不燃 190kg回収
5/18	ドコモ・システムズ 新入社員研修	42	小立 東海自然歩道付近林道内 可燃、不燃、粗大960kg回収
5/18	窪田理容美容専門学校	277	国道139号線青木ヶ原大橋下付近 可燃、不燃、粗大890kg回収
5/19	成長の家富士河口練道場 第8回富士山清掃奉仕活動	24	国道139号線富士桜カントリークラブ付近 可燃、不燃、粗大、タイヤ 1,540kg回収
5/23	山中湖観光地を美しくする会	500	山中湖村民による湖畔一斉清掃 可燃、不燃1,370kg回収
5/26	富士山クラブ 定例清掃活動	38	国道139号線県境付近 可燃、不燃、粗大400kg回収
5/30	山中湖村立東小学校	110	山中湖村平野地区 可燃、不燃 250kg回収
6/1	山中湖村立山中小学校	422	山中湖村山中地区 可燃、不燃 430kg回収
6/5	OKUTA	110	国道139号線紅葉台別荘地付近 可燃、不燃、粗大4,310kg回収
6/9	南都留中部商工会	50	山中湖平成の森 可燃、不燃330kg回収
6/13	山中湖観光地を美しくする会	500	山中湖村民による湖畔一斉清掃 可燃、不燃1,730kg回収
6/15	JATA(日本旅行業協会)	19	鳴沢溶岩樹形付近 可燃、不燃、粗大530kg回収
6/16	ボランティア清掃	40	可燃、不燃回収
6/23	成長の家富士河口湖練道場 第9回富士山清掃奉仕活動	21	国道139号線信号勝山上方付近 可燃、不燃、粗大1,110kg回収
6/27	山中湖観光地を美しくする会	500	山中湖村民による湖畔一斉清掃 可燃、不燃1,240kg回収



現場  
第11回  
富士山レンジャー  
REPORT

富士山学習支援プログラムの取り組み

富士山の環境保全の理念を示した富士山憲章では、第一にこのように宣言しています。

「富士山の自然を学び、親しみ、豊かな恵みに感謝しよう」  
自然を守り、引き継いでゆくための第一歩には、自然に対する純粋な興味や好奇心、そして学びがあるのではないのでしょうか。近年では環境教育への関心が高まり、教育機関のみならず、企業の研修や生涯学習としても活発な取り組みがみられます。

富士山ボランティアセンターでは、こうした取り組みを支援し、富士山の自然や環境問題に関心をもっていただくために、無料で、「富士山学習支援プログラム」を実施しています。富士山レンジャーはその講師としてプログラムの企画から実施まで幅広く取り組んでいます。依頼者は学校等や企業など多岐にわたり、対象者の年齢や有する予備知識などさまざまです。それぞれのニーズに対応し満足していただくために、プログラムの内容やテーマも多様なものを用意しています



小学校を訪問しての授業のひとつ。児童の素直な驚きや感想を引き出せるかが腕の見せどころ

が、「富士山の自然の不思議や魅力に触れること」「人間社会と環境問題について考えること」「自然の中でのルールやマナーを知り、自らの行動と結びつけること」などの内容は共通してプログラムに盛り込まれます。

最近では、地元の小学校を訪れる機会が多くありました。知っているようで、いままで知らなかった富士山の魅力に気づいたときの素直な驚きや、富士山を守るために自分たちががんばりたいという感想を引き出せたときには、とてもやりがいを感じます。

このプログラムに関心を持った方は、ぜひ参加してみませんか？富士山ボランティアセンターまでお問い合わせ下さい。(TEL0555-20-9229)

富士山から  
写真絵  
第2回  
季節の  
風物詩編  
日記

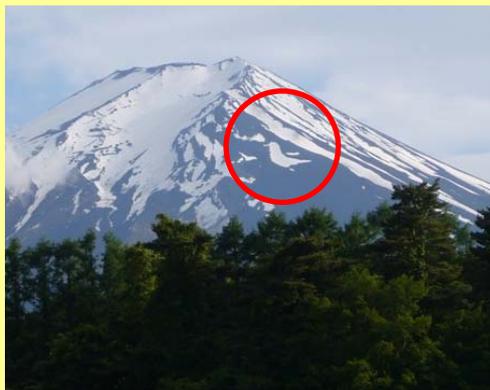


1. 銀竜草 (5月)

銀竜草(ギンリョウソウ)という植物です。その白い姿は森の妖精といった感じです。白い色をしているのは葉緑素がないからです。そのために光合成によって栄養を作ることができず、地中の菌類から栄養をもらって生きています。

2. 農鳥 (6月)

富士北麓地域に春を告げる「農鳥」が飛来しました。鳥と言っても生きていない鳥ではなく、富士山の八合目辺りの山腹に現れる鳥形の雪渓の事です。毎年5月頃に出現するのですが、今年は4月以降に積雪があったために一月遅れての出現となりました。



3. 御山開き (7月)

今年は例年になく雪解けが遅く、山頂までの山開きが危ぶまれていましたが、好天が続いた事や雪かきが行われた事もあって山頂までの通行が可能になりました。7月1日の山開き当日富士山は多くの登山客等で賑わいを見せていました。

# 富士山関連イベント

体験しよう

## 夏の森ガイドウォーク

○富士北麓剣丸尾の森を歩いて、動植物や森の成り立ちなどを学ぼう

開催期間:平成19年7月21日(土)~8月19日(日)

※毎週月曜日と8月4日(土)は実施不可

実施時間:10:00・11:00・13:30・15:00の1日4回

開催場所:山梨県環境科学研究所

注記:10名以上の団体のみ事前に連絡

問い合わせ:山梨県環境科学研究所 (TEL0555-72-6203)

## 富士山自然観察

○富士山五合目付近の様々な自然を二回に渡り観察し、植物と溶岩流、別々の視点から富士山を観察するエコツアー

開催日時:植物観察会 平成19年8月4日(土) 9:30~15:30

火山観察会 平成19年8月25日(土) 8:30~16:30

集合場所:山梨県環境科学研究所

募集定員:8月4日 80名・8月25日 50名※先着順

参加費:100円(傷害保険料)

問い合わせ:山梨県環境科学研究所 (TEL0555-72-6203)

## 富士山エコトレッキング<吉田口登山道>

富士山にゴミを持ちこまない、捨てない、気づいたゴミは拾う」という趣旨のもと、清掃活動とともに富士山の自然等に関する解説を聞きながら自然観察等を行うエコトレッキング

実施日時:平成19年8月8日(水)7:45~15:45(集合から解散まで)

実施場所:吉田口登山道(中の茶屋~五合目)

集合場所:パインズパーク

募集人員:30名 ※小学生以下は保護者の同伴が必要。

参加費:500円(保険料等)

持ち物:昼食、飲物、上着、雨具(カッパ等)、帽子、山道を歩ける服装、靴

申込方法:申込書に必要事項を記入し、富士山ボランティアセンターまでFAXで申し込み。(メール、電話、郵送でも可)

募集期間:平成19年7月31日(火)まで※定員になり次第締切。

問い合わせ:富士山ボランティアセンター TEL0555-20-9229

富士吉田市役所(富士山課) TEL0555-22-1111

学ぼう

## モノからみた富士信仰-新収蔵品展-

○富士吉田市歴史民俗博物館が最近収集した江戸~昭和の富士山信仰の資料を紹介。

開催期間:平成19年9月2日(日)まで

開催時間:9:00~17:00(最終入館16:30)

観覧料:大人300円 小中学生・高校生150円

(土曜日は小中学生・高校生無料)

問い合わせ:富士吉田市歴史民俗博物館 TEL0555-24-2411

楽しもう

## ミルキーウェイコンサート07

ー極上の音楽と大自然のプラネタリウムで夕涼みー

開催日時:平成19年8月5日(日)17:30~

開催場所:富士山6合目 里見平 星観荘

入場料:無料

演奏者:宮田まゆみ(笙奏者)、オマタツロウ(笛奏者)、AIKA(ギター奏者)

※演奏終了後、星の鑑賞会(講師:自然写真家 牛山俊夫)

問い合わせ:ミルキーウェイコンサート実行委員会事務局 井上

(TEL:0555-24-6090)

※当日11:00よりエコツアーを開催。参加者募集中!

その他

## 第3回全国公募展「わたしの富士山」作品募集

○あなたの心に残る富士山の姿を描いた絵手紙を全国募集。応募作品は全て展示。

応募規定:◇50円切手用ハガキサイズ(15cm×10cm)のもの◇絵手紙面の余白に都道府県名と氏名を記入。◇一人二通まで応募可。

※二通応募及び、団体の応募は封書にて受付。

募集期間:平成19年8月20日(月)まで ※当日必着

展示期間:平成19年9月26日(水)~12月3日(月)

【当公募展のみの観覧は無料】

展示場所:小池邦夫絵手紙美術館企画展示ホール

応募先:〒401-0511 南都留郡忍野村忍草2838-1

「小池邦夫絵手紙美術館 公募展係」宛て

問い合わせ:小池邦夫絵手紙美術館 (TEL0555-84-3222)

## 五合目の自然を楽しんでみよう。

富士スバルライン終点の富士山五合目では、富士山五合目自然解説員のガイドによる無料の自然解説が5月1日から10月31日まで行われています。

雪の影響で、途中までしか実施できなかった「御中道コース」もお山開きと相前後して通行止めが解除され、五合目から奥庭駐車場までの植物や火口跡など多くの自然を満喫できるようになりました。また、夏山シーズン中は、六合目まで往復し登山気分を味わえる「登山体験コース」も実施しています。

五合目を訪れる際には、是非、ご利用ください。事前に予約が必要ですので次のところへ申し込んでください。

富士山五合目総合管理センター 0555-72-1477

富士山ボランティアセンター 0555-20-9229

クイズの答え:①のウサギです

## 富士山憲章

- 1 富士山の自然を学び、親しみ、豊かな恵みに感謝しよう。
- 1 富士山の美しい自然を大切に守り、豊かな文化を育もう。
- 1 富士山の自然環境への負荷を減らし、人との共生を図ろう。
- 1 富士山の環境保全のために、一人ひとりが積極的に行動しよう。
- 1 富士山の自然、景観、歴史・文化を後世に末長く継承しよう。

平成10年11月18日 山梨県・静岡県

富士山憲章は、富士山の自然環境の保全の理念や行動規範を示し、環境保全の実践活動と呼びかけ、国民的な規模で、運動の展開を図っていくことを目的としています。

## 発行:富士山ボランティアセンター

(山梨県観光資源課富士山山岳担当)

TEL:0555-20-9229

FAX:0555-72-4114

山梨県富士河口湖町船津剣丸尾6663-1

e-mail: fujisan@eps4.comlimk.ne.jp

本誌のバックナンバー、メルマガの購読は「富士の国やまなし観光ネット」へ!

http: www.yamanashi-kankou.jp/fujisan3776

富士山ボランティアセンターは、富士山の環境保全活動を推進するための活動拠点であり、富士山憲章山梨県推進会議(山梨県と地元市町村等から構成される)によって運営されています。